

9月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 78号

2024年10月29日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>



令和5年度決算 わずかな差で承認

令和5年度に執行された予算は9月定例会までに整理され、議会で適正に使われたか審議しました。

審査

町の貯金はあと何年もつ？

令和5年度は**2.3億円減少**

DOWN

町の貯金にあたる基金(一般会計)は、今後、令和10年度まで毎年数億円規模で目減りしていき、資金繰りが厳しくなる見込みです。※町作成の財政推計

硬直化する財政

経常収支比率 **93.9%**

経常収支比率とは、町の税金や国からの交付税などの毎年の収入に対して、職員の給料や施設の維持費といった毎年必ず必要なお金がどれくらいを示す割合です。この数字が高いと、自由に使えるお金が少なくなります。大山町では前年度に比べて経常収支比率は増加し、県内でも高い水準になっています。

UP

令和5年度 予算は正しく使われたのか？

賛成8人 反対6人
僅差で決算承認

決算

決算審査特別委員会からの意見(要約)

1. 事業目標の見える化を!

重点的な事業は数値目標などでも管理すべき。特に観光事業などでの改善を求める。

2. 基金頼みの財政にメスを!

基金取り崩しの財政を見直し、持続可能な運営へ。事業の見直しなどによる経費の削減を。

3. 計画策定の遅れはしっかり反省を!

海の観光拠点整備事業は不十分な調査と方針の曖昧さで事業が遅延。反省点を内部で整理せよ。

4. 補助金審査に民間視点を!

店舗などの創業支援補助金に民間の視点を導入し、審査の客観性・公平性を確保せよ。

5. 町内団体へのサポート内容の見直しを!

老人クラブなど、町内団体の担い手確保がむずかしくなっている。行政のサポートも見直すべき。

決算 総括質疑

戦略的な取り組みは

【問】兵庫県豊岡市では戦略的な取り組みを定め、重点目標を定めて成果を出している。大山町ではどうしているか。

特にな

【町長】特に何かに特化して力を入れた訳ではない。それぞれの事業が進捗するように努力した。

吉原議員

財政硬直化の要因は

【問】令和5年度は経常収支比率が悪化している。財政硬直化(自由に使えるお金が少なくなっている)の要因は。

人件費の増加などが大きい

【財務課長】会計年度任用職員の待遇改善による人件費の増加、地方交付税の減少の影響を受けた。今後は経費の削減に取り組んでいきたい。

今後の見通しは

【問】財政収支の今後の見通しはどうなっているか。

厳しい見通しだ

【財務課長】歳入は徐々に減少する見込みだが、歳出は減らないため、今後も基金を活用するしかない状況だ。

近藤議員

少子化対策が負担では

【問】給食費無償化など、子育て世帯の経済的負担軽減が財政上の過度な負担になっていないか。

国に要望しつつも

【町長】収入としてふるさと納税の寄附金収入も増えている。また、国に対しても財政支援をしっかりと要望していきたい。

討論

令和5年度
一般会計決算

「認定」

賛成8
反対6

【大森議員】 反対
同和対策は終了を

子育て支援や経済的負担軽減は評価するが、同和対策については特別な施策は終了して、一般的な施策として進めるべきだと考える。

【豊議員】 反対
予算の無駄が目立つ

海の観光拠点整備事業に880万円が投じられたが、成果が見られず無駄な支出だった。

全体として経常的な支出ばかりなのに、基金の取り崩しが行われていることは問題だ。

【西本議員】 反対
観光施策と行政運営に不信

地域コミュニティケア事業などは評価できるが、観光施策には多くの問題がある。特に電動自転車には、実証実験を含めて1553万円を費やすが、利用が進まない。役場の不祥事も続き、行政運営への不信感がある。

【近藤議員】 反対
人口減少対策の効果に疑問

人口減少対策の方向性に問題があり、既存の農村集落への関心が薄いと感じる。子育て世帯への経済支援に1億円以上が支出されたが、出生数は減少しており、費用対効果に疑問がある。

【岡田議員】 賛成
成果を評価できる

厳しい財政状況の中で、基金取り崩しを最小限に抑えた点は評価できる。部落差別の問題についても根強い差別が残っており、対策は引き続き重要だと考える。

用語解説 【リンクワーカー(おせっかい人)とは?】 医師や行政、地域サービスなどと地域住民を結び橋渡し役。資格の有無にかかわらず、自分の得意ごとを生かして住民と一緒に元気をつくります。

用語解説 【地域コミュニティケア事業】 健康と福祉の向上を目的に、地域のつながりを築くための活動です。主な取り組みとして、暮らしの保健室、シン・福祉ミーティング、おせっかい人講座、勉強会などが行われています。

決算審議・議員はココに注目した

海の観光拠点整備

894万円

委託業者を選定して設計したが、さまざまな制約が判明し、基本構想からやり直しとなった。多額の予算が無駄になった。はじめから制約条件を考慮しながら検討するべきだった。



岡田議員



レンタサイクルシステム構築

379万円

この事業に加えて、電動アシスト付き自転車の購入費794万円と、令和4年度の無料実証業務委託費379万円も合わせると1553万円が使われたが、自転車の活用は進んでいない。



豊議員



地域自主組織育成支援

3496万円

設立から10年以上が経過しているが、地域課題の解決には結びついていない。地区によって自主組織の認知度にも差がある。一度事業を廃止し、新たに計画すべきだ。



米本議員

アウトドアライフ創業支援

2849万円

支援を受けたお店は、現状、営業日が少なく、大山を訪れた人から不満の声が上がっている。役場も審査体制を見直し、やる気のある事業者を選ぶべきだ。



島田議員

補聴器購入費助成

90万円

補聴器の購入費に対し、上限3万円の助成を行う事業で、利用者には好評である。しかし、高価な補聴器に対して補助額が少ないため、補助額の引き上げなど拡充が必要だ。



大森議員

放課後の子どもの居場所づくり

49万円

行政と住民の連携が不十分だ。もっと町内の個人や地域自主組織の取り組みなど、現状把握をしっかりと行わなければならないのは残念だ。



池田議員

リカレント教育 (大人の学び直し促進)

85万円

図書館にコーナーを作り、ニーズの合った仕事系の本を充実させたことで、若年層への貸出数が増えた。前年比で13-18歳は270%増、19-29歳は370%増と、驚異的な伸びだ。



西本議員



大山選果場 出荷体制応援

2111万円

ふるさと納税返礼品の主力である梨の出荷体制を強化した事業であり、人手不足や資材高騰の中で、生産者の意欲を喚起できた良い事業だった。



大原議員



保育士の環境改善

保育士の離職者が多くなっている課題に対して、新卒者には担任を任せないことや、業務相談をしやすい職場づくりに取り組んだことは評価したい。



大杖議員

新入学応援ギフト

1583万円

小学校入学時に4万円、中学校入学時に9万円の商品券が配布された。給食費無償化などと合わせると、子育て支援に1億円以上が支出されているが、費用対効果が乏しいのでは。



近藤議員

大山町 PR 大使活用

333万円

ガンバレルーヤの2人をPR大使に任命し、町のPR活動を行ったが、狙いとされていた町の知名度向上や関係人口の増加については、目的と効果に疑問が残る。



吉原議員

ドリームカーフェスタ (日本遺産魅力発信)

89万円

大山は一木一石運動など自然保護活動が評価されてきた。多量の排ガスを象徴する車のイベントは、地域が築こうとしているイメージとは異なる。町が主催すべきか疑問だ。



小谷議員

特定健康診査

835万円

健診は身体と心の健康を守るために不可欠だ。早期発見や生活習慣病の抑制によって健康寿命を延ばすことができる。受診率向上に向けた取り組みも強化すべきだ。



杉谷議員

老人クラブ連合会補助金

213万円

高齢者でも働く人が増え、老人クラブの加入者が少なくなっている。また、加入しているクラブ内でも活動の質や量に差がある。補助金の算定方法を再検討すべきだ。



門脇議員

トピックス 「黄金の虎」 841ラーメンのキッチンカーが町内をめぐります。主に(水:大山地区)18時~八光駐車場・(金:名和地区)17時~大山町本庁舎駐車場・(土:中山地区)18時~中山温泉駐車場で販売。売り切れ次第終了。

トピックス 「御厨(みくり)」 御来屋地区に、かつて酒蔵や絹糸工場としても使われた旧吉田邸を改装したコーヒーショップが開店。水をテーマに飲食や観光、ブライダルなどの事業を計画している。週5日営業。

チェックします

9月定例会

議案の質疑

畜産支援事業

2197万円

円安による輸入飼料価格の高騰で経営が悪化している酪農家や、和子牛価格の急落に苦しむ和牛繁殖農家を支援します。

【Q】十分な支援になっているか。
【A】国の基準価格60万円と県平均売買価格46万2000円との差額について、県の支援制度での補てん額を控除した額を支援する。

今後、生産者との意見交換もし、価格下落の支援とは別に、和牛の価値を上げるような取り組みも検討したい。

大山応援券事業

8218万円

家計負担の低減と地域経済活性化のため、全町民対象に商品券を配布する。

【Q】応援券を配布する事業は今年度2回目になる。財源は大丈夫か。
【A】ふるさと応援基金を活用し実施したい。

【Q】主たる目的は、事業者支援と、町民の家計負担軽減のどちらか。
【A】より重要なのは事業者支援である。

【Q】電気代、燃料費高騰により、商工会から支援の要望があったが、商工会からの要望は応援券事業だったのか。
【A】商工会から応援券事業を要望されたと認識している。



今年度2回目の応援券

白熱討論

一般会計補正予算（主に応援券事業について）

反対
「ムダ遣いだ」
主たる事業目的は、原油高や物価高で打撃を受けている商工事業者への支援である。しかし、商品券の8割は一部の小売店などで使用される。大半の事業者にとってメリットがなく、税金のムダ遣いである。

反対
「目的が不明確」
応援券事業は、経済対策として費用対効果が薄い。8000万円あれば、いろいろ事業ができるのに、もったいない使い方だ。

また、DMO設立に向けた約2000万円の予算は、目的が不明確だ。

議員名	小谷	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

索道事業（スキー場リフト）会計補正予算

圧雪車1台更新のため、今年度は715万円のリースで、次年度は5500万円で購入する。

反対
「見通し不明」
スキー場運営は前向きにやっていたが、2年後のスキー場運営が不明確な状況で、5500万円の圧雪車を買うのは良くない。

賛成
「必要不可欠」
今の圧雪車が故障続きで、スキー場整備に支障がある。スキー場を継続運営する以上、圧雪車は必要不可欠である。

賛成
「スキー場必要」
圧雪車は高価なものだが、スキー場をやめてしまえばスキー場営業がなくなる。大山寺は完全に衰退する。

また、DMO設立に向けた約2000万円の予算は、目的が不明確だ。

議員名	小谷	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

請願・陳情

賛成 大森議員
訪問介護報酬の引き下げ撤回の請願（賛成1、不採択）
介護保険の国庫負担割合を増やし、介護報酬を引き上げるべきだ。

反対 西本議員
中山間地域の加算もあり改正は、しかるべき変更内容と考える。

賛成 大森議員
現行の保険証とマイナ保険証の選択制堅持を求める請願（賛成1、不採択）
紙の保険証とマイナ保険証のどちらを使うかは個人の自由であり、選択制を堅持すべきだ。

反対 西本議員
法改正により、12月からはマイナ保険証が基本になる。請願内容の改正は間に合わない。

補正予算の概要 -総額3億円-

大山応援券事業 8218万円

宿泊応援事業 2051万円
宿泊事業者支援のため、町内での宿泊代金に補助をする。

DMO 設立準備事業 1922万円
令和7年1月の申請に向け、体制を整備する。

住宅用置き配ボックス設置事業 20万円
置き配ボックスの普及推進により、再配達を削減し、地球温暖化対策に貢献する。

1/2補助が決まった（最大1万円）



不在でも受けとれる置き配ボックス

用語解説 「マイナ保険証」 マイナンバーカードを健康保険証として利用できるように利用登録したもの。従来の国民健康保険や社会保険の健康保険証に代わり、医療機関での受診や薬局での薬の受け取りの際に使用することができる。

トピックス 「スマイル大山号」 町が運営している交通機関で町内の病院、スーパー、福祉施設、銀行など91カ所に行くことができる。片道一律100円、乗降場所は自宅近くの車両乗り入れが可能。問い合わせ先(まちづくり課0859-54-5202)

7月臨時会
8月臨時会
9月定例会

一目でわかる審議結果

○主な議案（賛否の分かれた議案など）

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大杖正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	結果
定例会																
議案第82号 大山町国民健康保険条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決 (賛成13人)
議案第86号 米子市と大山町とのし尿及び浄化槽に係る汚泥の処理に関する事務の委託に関する規約を定める協議について		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (賛成13人)
議案第88号 令和5年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定について 海の観光拠点整備事業・レンタサイクルシステム構築 有料実証業務委託など		×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決 (賛成8人)
議案第102号 令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号) 大山町応援券事業・DMO設立準備事業など		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決 (賛成10人)
議案第109号 令和6年度大山町索道事業特別会計補正予算(第2号) 索道管理費(圧雪車リース費用)		○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決 (賛成11人)
請願・陳情																
訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書 鳥取市末広温泉町 鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田安一		×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択 (賛成1人)
現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう国に意見書をあげるよう求める請願書 鳥取市末広温泉町 鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田安一		×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択 (賛成1人)
健康保険証の廃止をしないよう求める請願書 米子市博労町 米子民主商工会 会長 植田 均(他1名)		×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択 (賛成1人)

○全会一致で可決・同意・採択した議案など ※議案などの採決は、米本隆記議長を除く14人で行います。

- 7月臨時会・・・契約締結(1件)、財産取得(1件)
- 8月臨時会・・・令和6年度補正予算(1件)、財産取得(2件)
- 9月定例会・・・令和6年度補正予算(8件)、決算認定(13件)、条例改正(3件)、規約の協議(1件)、財産取得(2件)

トピックス 「西坪展望公園トイレ」 西坪展望公園から約100m西側に海辺の散策やサーフィンなどのアクティビティを楽しむ人を対象にしたシャワー付き公衆トイレが整備されました。

14人が町長・教育長に
一般質問を行いました。

一般質問

◆一般質問とは
議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 本町の観光振興について	大杖 正彦
10	1. 本町の特色ある学校づくりは	杉谷 洋一
	1. 認知症の予防と対策は	吉原 美智恵
11	1. 大山町の町民と行政のつながりを深めるために	島田 一恵
	1. 労働力不足への取り組み加速を	門脇 輝明
	2. 学校・保育所の職員不足の対応は	
12	3. 大山西小学校の環境整備を	池田 幸恵
	1. 移住施策の充実を	
	1. 同和対策について問う	
13	2. 熱中症対策や物価高騰対策を	大森 正治
	3. 「大阪・関西万博」への修学旅行は中止を	
	1. 大山町の財政はこのままで大丈夫か	
14	1. 学校体育館のエアコン整備について	近藤 大介
	2. 放課後児童クラブの充実について	
15	1. 今こそ地球温暖化対策に傾注を	岡田 聡
	2. 和牛子牛の生産振興・維持への支援を	
16	1. 本町観光業の魅力アップについて	豊 哲也
	2. 牛馬の聖地「大山」ドリームカーフェスタについて	
17	1. 竹口町政2期目の成果と課題について	大原 広巳
	1. 桜並木は守れるか	
18	1. 西坪展望公園トイレ整備事業について	野口 俊明
	2. 電動マウンテンバイクの利用状況は	
19	2. 住民の幸福度について	西本 憲人

【町長】人口減少・少子高齢化・第一次産業の衰退など地方には課題が多い。観光資源の豊かな本町では、強力な観光振興施策が求められる。今後さらに観光客の誘客をめざすには、施設の充実と上質なインフラ整備が重要となる。観光客の消費は、いづれも税金に還元される。観光客の消費は、いづれも税金に還元される。観光客の消費は、いづれも税金に還元される。



満足度の高い観光地に

地域の成長に寄与する。これが本町観光のあるべき姿と考える。【町長】本町は牛馬市から始まり登山やスキーブームが地域の繁栄をもたらした。このレガシーを次世代に引き継ぎ観光を本町の重要戦略とするべきと思うが。【町長】観光振興の目的を一人人口減による消費の減少を町外からの獲得により、町内経済の成長促進をもって、住民生活の質の向上に資する」として、DMO設立の準備をすすめる。

町長 DMOの準備をすすめる 観光振興を どう考える



町長 大杖正彦 議員

▶ 動画はQRコードからどうぞ

小中学校の特色と魅力化づくりは

教育長 ふるさと大山に誇りを持てる教育を



ふるさと大山に誇りを持てる教育を
杉谷洋一 議員



【杉谷】部活動地域移行の進捗よく状況は。

【教育長】指導者など多くの課題があるが、議論を進めたい。

【杉谷】全国学力調査結果の本町の状況は。

【教育長】全国水準とほぼ同等であるが、今後教育水準の向上に向けて取り組んでいく。

【杉谷】いじめや登校拒否の現状は。

【教育長】いじめ件数は前年より減少した。教員の研修や児童生徒・保護者に寄り添い、取り組んでいる。

【杉谷】上部組織からのPTA脱会は大丈夫か。

【教育長】保護者負担の



地域で見守る登下校

軽減などで名和小・大山小が脱会したが、町内の他校と連携し情報は得ている。

【杉谷】郷土愛を育むふるさと教育は。

【教育長】地域のみなとの触れ合いのなかで、ふるさと大山を愛し、誇りを持てる教育に取り組んでいる。

取り組んでいる。

【杉谷】郷土愛を育むふるさと教育は。

【教育長】地域のみなとの触れ合いのなかで、ふるさと大山を愛し、誇りを持てる教育に取り組んでいる。

認知症への対策は

町長 本人の意思に沿った支援対策が必要だ



本人の意思に沿った支援対策が必要だ
吉原美智恵 議員



【吉原】国においては、令和6年1月に「認知症基本法」が施行され、その予防と対策は待たなしの状況である。

認知症の正しい知識の普及啓発は。

【町長】認知症に関する映画の上映、認知症サポーター養成講座の開催などを行っている。

【吉原】基本法の中で新しい認知症観が打ち出され、認知症になっても希望を持って自分らしく暮らし続けることや、共に支え合って生きる事が重要という観点になっている。

新しい観点による取り組みと対策は。



認知症もふっとぶ女性レクリエーション大会

【町長】認知症になって本人の意思に沿うような支援体制や、希望がかなうような地域づくりが必要だと認識している。

【吉原】認知症行方不明者の問題も深刻で、家族の苦しみは大変なものであり、対策が必要

【町長】他の事例などを参考に導入を検討する

町民の声を

行政へ届けるには

町長 町民の声を拾う仕組みを検討する



町民の声を拾う仕組みを検討する
島田一恵 議員



【島田】町民からの意見や質問の対応は。

【町長】内容により課内や庁内で共有し検討や見直ししている。

【島田】町長への手紙の現状は。

【町長】令和5年度は37件あり、内容を確認し返信している。

【島田】町民は理解・納得をしているか。また、記録や保存はしているか。

【町長】納得できないことは再度問い合わせをいただき、庁内で記録や保存をしている。

【島田】窓口を一つにして課内で振り分け対応するシステムにならないか。



ホームページも活用を

いか。

【町長】そのような自治体もあるが、いずれにせよ担当課へつなぐのと同じ形になる。

【島田】町長座談会は。

【町長】以前は行っていたが、同じ人が来られたい意見が聴けなかったため、現在はしてい

ない。

今は事業ごとに意見交換や、行事・イベントなどに出て意見をいただくようにしている。

【島田】今後、座談会の予定はあるのか。

【町長】方法を変えながら、声を拾う仕組みを検討したい。

大山西小

駐車場の整備は

町長 今後検討を進めたい



今後検討を進めたい
門脇輝明 議員



【門脇】大山西小学校は駐車場が狭く、学校行事の時は保護者などが周辺の農道に100m以上にわたって駐車し、通行に危険が生じている。特に学校北側の道路は、県道の迂回路となっている。

学校周辺の農地は宅地への転用が進んでいるが、耕作されていない農地も残っている。学校用地として取得し、駐車場として整備することはできないか。

【教育長】大山西小学校の駐車場が狭く、行事を実施するときに通行に危険が生じていることは承知している。

耕作をされていない農地を駐車場に利用できないかどうか、今後検討を進めたい。

【門脇】学校と山陰線の末長踏切の間の歩道整備の進捗よく状況は。

【町長】鳥取県の事業として用地調査などを行っている。

このほか「労働力不足への取り組み加速」と「学校・保育所の職員不足の対応は」のテーマで質問し、提案したサテライトキャンプパスについて、町内への誘致活動に取り組みたいとの答弁を得た。



行事の度に路上にあふれる車

子育て世帯向け賃貸住宅の 入居条件は

町長 今後、管理運営者と協議調整していく



池田幸恵 議員

【池田】 子育て世帯向けの賃貸住宅の入居募集方法や入居条件は。

【町長】 それぞれ管理運営を行うSPC（特定目的会社）と今後検討を行っていく。

募集方法は、町のホームページなどで行う予定だ。

入居条件については、優先順位を子育て世帯・若者夫婦世帯を第一に考えているが、状況によっては中堅所得世帯にも募集を行う予定としている。

【池田】 子育て世帯専用ではないのか。それ以外の入居の可能性もあるということなのか。



大山中学校近くの建設予定地

【町長】 募集状況による。入居条件はSPCが決める。

【池田】 町として入居条件の要望を伝えることが大切ではないのか。

【町長】 子育て世帯だけの経営が成り立たない場合、SPCの方針によりそれ以外の世帯

入居も出てくる可能性がある。SPCが決した後、細かな協議調整をしていく考えである。

【池田】 適宜、議会へ情報共有してほしい。

【町長】 情報共有、情報提供していきたい。

同和対策完了が 完全解決の早道では

町長 調査や客観的事実から改善を進める



大塚正治 議員

【大塚】 町内の同和問題の現状をどう認識しているか。

【町長】 令和2年の町民への「意識・実態調査」から、部落差別は解消されていない現状があり、現在も続く重大な社会問題である。

【大塚】 同和対策事業の見直しは。

【町長】 住民意識や差別の現状をみて、内容や継続の是非をその都度検討していく。

進学奨励交付金は、格差が縮小傾向にあり、一般施策化は十分検討できる。

【大塚】 同和問題が解決したと判断するのはどう



偏見や差別のない社会に

んな状態のときか。

【町長】 偏見や差別などが完全になくなった時と考える。

【大塚】 同和対策の完了が完全解決の早道ではないか。

【町長】 当事者への調査や客観的事実を集め、改善改革を進めていく。

そのほか、「熱中症対策」として、エアコン購入費と設置工費の補助を求め、「物価高騰対策」として、住宅リフォーム助成を求めた。

また、大阪・関西万博への修学旅行の安全性について質問した。

大山町の財政は 大丈夫か

町長 全く問題はない



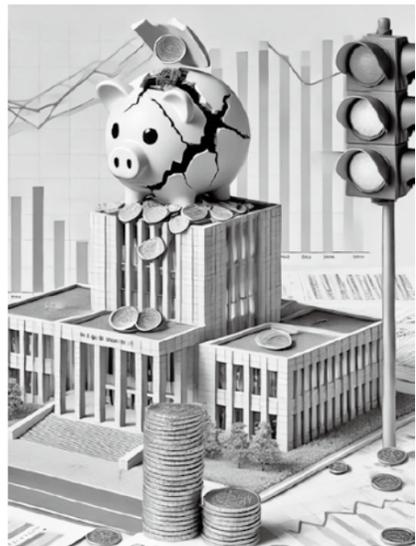
小谷英介 議員

【小谷】 近年、町の財政は基金（貯金）の取り崩しに依存しており、基金は徐々に目減りしている。大山町の財政はこのままで大丈夫か。

事業の廃止など、本気で行財政改革を進めるべきではないか。

【町長】 実質公債費比率や将来負担比率など、各種財政数値を見ても全く問題はない。もちろん、行財政改革を進めていく。

【小谷】 役場担当者や外部委員が行政事業を評価し、廃止提案などを行う「事務事業評価」の取り組みをやめたこと聞いているが、なぜや



黄色信号が灯る町の財政

めたのか。

【町長】 現在、事務事業評価は実施していない。机上で理屈だけを考える人は、外部の評価が必要だと言うが、実際には事業の必要性は最終的に政治が決定すべきものだ。

【小谷】 政治決定の前に外部の声を聞くことをやるようでは「町長のワンマン経営だ」と町民から批判されても仕方がないのでは。

【町長】 議会や監査委員など、外部の声を聞く仕組みは他にもある。

伸び伸び遊べる 放課後児童クラブに

町長 ハード整備も検討したい



近藤大介 議員

【近藤】 放課後児童クラブの現状と課題は。

【町長】 放課後児童クラブは、就労などのため家庭でみるのができない児童の生活の場となっている。

年々利用児童が増加傾向にあり、今後、職員確保が課題である。

【近藤】 現状の施設は狭く、子どものストレスもたまりやすい。

外遊びなど、子どもが伸び伸びと遊べる環境をつくるため、例えば、放課後児童クラブと児童館を一体としたような施設が必要ではないか。

【町長】 利用登録が必要



子どもは思いっきり遊びたい

な児童クラブと、そうでない児童館の施設整備をあわせてやるという取り組みは、検討可能と考える。

施設規模や機能、各地区の現状などを考え、前向きなハード整備も検討していきたい。

このほか、近年の猛暑を踏まえ、学校体育館のエアコン整備について質問した。

限られた財源で、トイレの洋式化などを優先するとの答弁だった。熱中症対策を引き続き要望していきたい。

今こそ地球温暖化対策に傾注を

町長 地球温暖化対策 実行計画を検討中



おたに 誠 議員

【町長】頻発する異常気象による被害の拡大、猛暑日の増加など、地球温暖化の影響といわれている。国や自治体そして我々一人ひとりも、強い意識を持って対策に取り組みねばならない。再生可能エネルギー利用の積極的推進が必要だがどうか。

【町長】地球温暖化対策実行計画策定など検討している。

そのほか、「和牛子牛の生産振興・維持への支援を」の質問をし、国のセーフティーネットとして措置し、不足があれば、県の支援に上乗せして支援しているとの答弁を得た。

【町長】家庭用発電設備導入補助金を新たに創設し、促進をはかっている。

【町長】意欲のある事業者があれば連携したい。

【町長】ゼロカーボンシティ宣言を行う自治体が増えている。大山町も思い、もっと積極的に地球温暖化対策に取り組むべきだが。



自然エネルギーの活用で地球温暖化対策

ヒメボタル環境保護などの方針は

町長 意見を聞きながら 検討していく



おたに 誠 議員

【町長】大山寺エリアに生息するヒメボタルの環境保護と観光振興に関して、今後の方針は。

【町長】新たなスポットとなる可能性がある。検討していきたい。

【町長】関係者・地域の皆さんの意見を聞きながら検討していく。

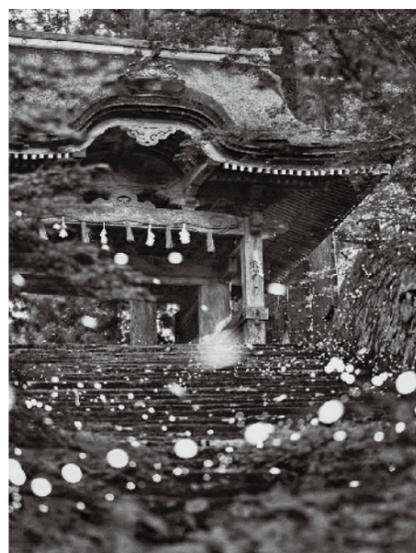
【町長】ふるさとワーキングホリデー」の制度を町単独でも行っていないか。

【町長】美しい星空は観光資源として重要な地域の声をまとめ回答する。

【町長】必要な支援を検討していきたい。

【町長】伯耆町では、ひまわり畑など観光のため栽培を農家に依頼している。環境整備をしないか。

【町長】美しき星空は観光資源として重要な地域の声をまとめ回答する。



大神山神社前のヒメボタル

4年間の成果と 今後は

町長 継続中の事業を 推進していく



おおはらひろみ 大原広巳 議員

【大原】竹口町政2期目の成果は。

【町長】少子化対策として、令和5年度から、小児科・産婦人科オンライン相談を開始した。また、教材費の補助などで、子育て世代の経済的負担を軽減し、1期目の保育料無償化と相まって、令和5年度は県内で唯一、出生数が増加した。

そのほか、産業、観光、教育、福祉、防災対策なども推進した。

【大原】今課題となっている事業を、今後どうする予定か。

【町長】大山アウトドア事業促進施設、お魚センターなどの整備や、淀江IC周辺の活用など

【町長】双方ともコミュニケーションが足りないところもあったので、今後相談していく。

高齢者対策として、デマンドバスの利便性の向上で片道100円の試験運行を始めたり、ゴミ出し困難者に係る戸別収集を令和4年8月から始め、現在21世帯で行っている。



議会への情報共有をさらに求める

報恩峠の 桜並木は守れるか

町長 県との協議を 進めていく



おの 俊明 議員

【野口】中山地区の報恩峠の桜並木の管理が十分にされていない。

道路両脇に桜を植樹した。放置されて、順調に成長したものは少なかった。その後、昭和54年に中山町老人クラブ連合会と大山ライオンズクラブが事業計画し、補植したものであると考えられる。

【町長】報恩峠の桜は本町の観光資源の一つであるため、今後、県と協議しながら対策を進めていきたい。

【町長】現場を確認し、良い状態ではないと認識している。ただし、桜の木は県の敷地内にあるため、管理責任は県にあると考えている。

【野口】先人が残してきた

【野口】そもそも、旧中山町時代に桜が植樹された経緯は。

【町長】中山町誌や報恩峠の記念碑によると、昭和37年に中山町長が萩原集落の協力により、



管理がされていない桜並木

動画はQRコードからどうぞ

電動マウンテンバイクの利用状況は

町長 必要時に使用するために
保管中である



【西本】令和3年度に購入した電動マウンテンバイク(E-MTB)は、約40万円ものを20台で約800万円かけて購入した。

実験を繰り返すだけでなく、本来はやるべきことが決まってから物品を購入するべきである。当時の契約方法にも疑問が残る。

ほかに西坪展望公園トイレは議会で説明を受けた場所と違う場所に建設されたが、問題ないとの回答であった。町長は説明しているつもりだが、住民、議会への説明不足は否めない。納得はできない。

【町長】実証実験によりレンタサイクルだけでは民間での事業運営はむずかしいことが見えた。必要時に使用するために保管中である。



観光局にE-MTBがあるのになぜ町で購入が必要だったのか

行政視察 R6.7.10~11

議会全員で視察してきました。

DMO(観光地域づくり法人)事例

大山町議会では、全議員でDMO(観光地域づくり法人)の先進事例視察を実施しました。視察先は、兵庫県豊岡市と岡山県奈義町で、それぞれのDMOが取り組む観光戦略や地域資源の活用法を学びました。視察を通じて、デジタル技術の活用や、地域に根ざした人材育成、そして明確な戦略に基づく観光施策の重要性を実感し、今後の大山町DMOの方向性に活かせる多くの学びを得ることができました。

豊岡市観光イノベーション

【特徴】

- 城崎温泉を核とした観光まちづくり
- 観光DX/データ活用の先進事例
- 常に宿泊予約数をエリア全体で共有して対策を検討
- 2016年から8年で外国人客数が57倍に

【本町への活用】

豊岡市では、マーケティング人材を外部からの登用だけに頼らず、市役所職員を民間企業に出向させるなど、長期的な視野で職員育成を進めてきた。大山町DMOでも町内の人材を育成していくのが望ましい。



事業本部長から細かな内容を聞き取る

ビジット奈義

【特徴】

- 観光戦略は「自然とアートと美食の町」
- 奈義町現代美術館が観光集客の目玉
- サントリーから出向の人材がDMOを舵取り
- 戦略に忠実にマーケティング活動に取り組む

【本町への活用】

サントリーから営業のプロを招聘し、少数精鋭で、戦略に沿ってやるべきことに集中する姿勢は大変参考になった。やらないことを決めることも大切と感じた。



町内観光業者との連携の秘訣は

トピックス **「ホンビニ」** 大山町御来屋のJR名和駅近くに今春、本屋とコンビニを掛け合わせた売店「ホンビニ」として、「fab box(ファブボックス)」が開店した。営業日時は、毎週金曜日の17時~21時。

お知らせ News

議員と語る会 集落へ出かけます!

今年も、秋の「語る会」は、集落・自治会単位で行います。

- ☆開催日程/11月下旬まで
- ☆テーマ/「集落で抱える身近な課題」など
- ☆問合せ・申し込み/ 区長さんを通じて、議会事務局へ Tel 0859-54-5213



自治功労者表彰

令和6年8月19日、鳥取県西部町村議会議長会から、自治功労者として2名の議員が表彰されました。通算11年以上の在職期間とその功労が評価されました。



大原議員 大杖議員

Webアンケートのお願い

「議会だより だいせん」の感想をお寄せください。右記のQRコードを読み取っていただくと、アンケート入力フォームにアクセスできます。(所要時間3分程度) みなさんの声をお待ちしています。



大山 トリビア **「お経滝」** 2017年に町内の阿弥陀川支流で無名滝が佐摩集落の小原邦彦さんにより発見され「お経滝」と命名された。経路図は大山公民館にあり、今では多くの人々がトレッキングで訪れている。

なり手不足!?

議員ってどうやってなるの?



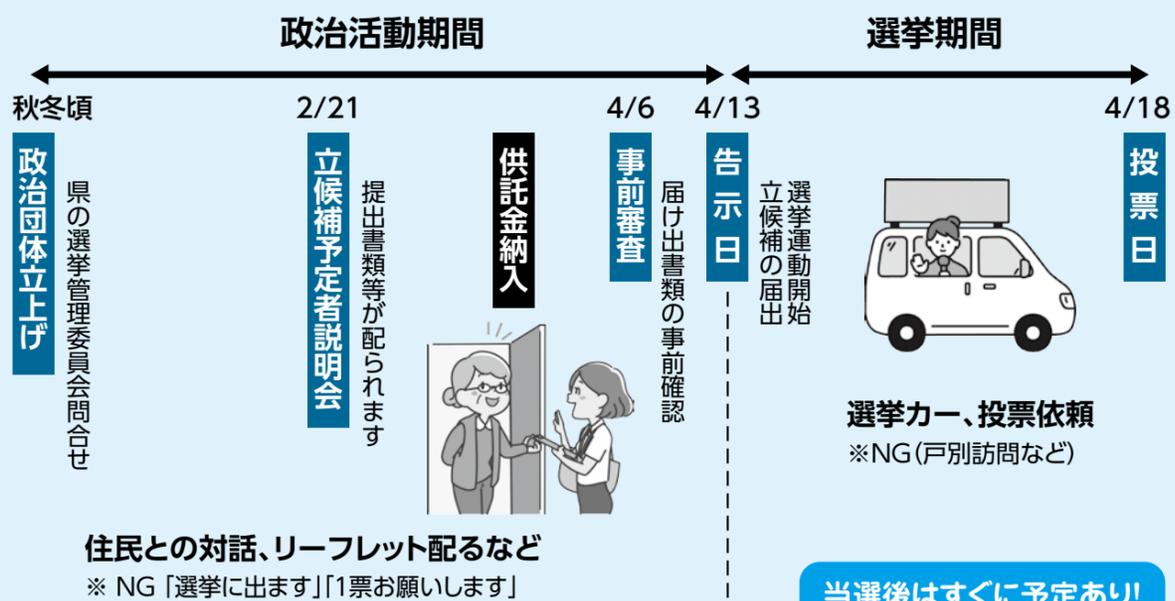
次の大山町議会議員選挙まで約5カ月となりました。前回に引き続き少しでも多くの人に“その気になってもらう”ため「議員ってどうやってなるの?」のコラムを連載します。
イメージしやすいように、具体的なスケジュール、活動の違いをまとめてみました。

大山町議員になるには

議員になるには立候補して、選挙で当選しないといけません。
選挙に出るためには条件があります。

- 条件**
 - 日本国民で満25歳以上
 - 大山町の選挙権を持っていること
(引き続き3カ月以上大山町に住所のある者)

スケジュール目安 (※2021年選挙時のもの)



2つの期間のちがい

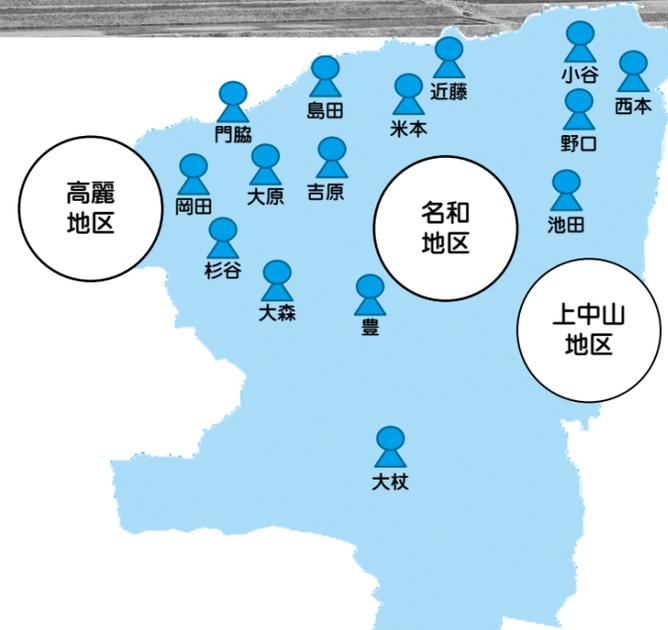
選挙運動期間

「選挙にです、1票お願いいたします」とハッキリ言える活動期間は告示日からの投票日前までの5日間だけ。告示日前の選挙運動は法律(公職選挙法)で禁止されているので気をつけましょう。

政治活動期間

告示日前は選挙運動はできませんが、政治団体を立ち上げて政治活動を行うことは可能です。多くの人に存在を知ってもらうため、候補者のほとんどは事前に政治団体を立ち上げて活動しています。

用語解説 「選挙期間中の戸別訪問の禁止」一軒ずつ家を訪問し、特定の立候補者や政党への投票を依頼する行為を「戸別訪問」と言います。選挙期間中の戸別訪問は公職選挙法で禁止されています。



議員の後援会事務所マップ

大山町には旧校区ごとに分けると10地区あります。しかし現状では高麗地区、名和地区、上中山地区には後援会事務所を構える議員がいないため、これらの地区は「空白地帯」とも呼ばれています。

まとめ

選挙活動は人によってちがう

自分の住んでいる地域、手伝ってもらえる支援者の方たちと話し合いながら、自分にあった戦いに

過去の選挙結果一覧

大山町で過去にどんな選挙があったのか候補者を見ながら自分が出馬することをイメージしてみましょう。

		2021年		2017年	
		投票率 68.8%		投票率 75.77%	
1	島田 かずえ	685票	池田 ゆきえ	1086票	
2	かどわき 輝明	646票	かどわき 輝明	927票	
3	池田 ゆきえ	638票	米本 たかよし	733票	
4	野口 俊明	616票	近藤 大介	724票	
5	小谷 英介	593票	森本 たかゆき	665票	
6	吉原 みちえ	513票	吉原 みちえ	665票	
7	西本 のりと	508票	杉谷 洋一	664票	
8	森本 たかゆき	507票	大原 広巳	605票	
9	杉谷 洋一	505票	野口 俊明	590票	
10	大森 正治	499票	大森 正治	540票	
11	近藤 大介	475票	野口 昌作	498票	
12	米本 たかよし	471票	加藤 紀之	438票	
13	大原 広巳	447票	西山 富三郎	421票	
14	大杖 まさひこ	396票	岡田 さとし	396票	
15	豊 てつや	371票	西尾 としひろ	395票	
16	岡田 さとし	369票	大杖 まさひこ	347票	
17	候補者A	336票	候補者A	334票	
18	候補者B	334票	候補者B	332票	
19	候補者C	244票	候補者C	260票	
20	候補者D	19票			

※町HPより参照

トピックス 「中山わいわいフェスティバル」毎年11月3日開催、中山農業者トレーニングセンターで開催。じゃんけん大会や、わいわいフェスティバル恒例の「幸運の餅まき」などが行われる予定。(問合せ先:大山町商工会)



みんなのひろば 声

地域とともに歩む施設をめざして

児童養護施設 光徳子供学園

大山町名和地区で児童養護施設を運営する社会福祉法人光徳子供学園は、戦災孤児を受け入れて以来、今年で創立79年の歴史を誇ります。令和6年度からは、新しい理事長と園長の下で、新たな一歩を踏み出しています。



子供学園を飛び出し、地域にでかけて学んでいます

児童養護施設とは

児童養護施設とは、保護者がいない児童、虐待を受けている児童、その他の環境により養護が必要な児童が、生活しながら勉強をする施設です。また、退所した児童に対して、相談に応じたり、自立を支援したりする援助も行っています。

現状と今後の見通しは

現在、小学生から高校生までの10人の児童が、2つのホームに分かれて生活しています。小中学生は徒歩や自転車、校区の学校に通い、高校生は近隣の学校に電車通いで通っています。高校生の中には、自立に向けてアルバイトに励んでいる生徒もいます。今後は、関係機関と連携しながら、職員と入所児童を段階的に増やし、3年以内に全4ホームと多目的棟・家庭支援棟をフル稼働（一時保護、ショートステイ、子育てサロンなど）させることをめざしています。

一緒に働く仲間を募集しています

募集職種

【職員】保育士、児童指導員(3名)、セラピスト(1名)

職務内容：施設での入所児童の養育に係る支援業務全般
施設での入所児童の心理療法に係る業務全般
待遇：給与 206,200円～234,900円
賞与年2回、各種手当あり

【ボランティア】草刈り隊、助っ人隊(多数)

募集のお問い合わせ先

社会福祉法人
児童養護施設光徳子供学園
住所 大山町名和1239-1
電話 0859-54-2550



←施設の詳細など
左記のQRコードから
公式ホームページを
ご覧ください。

あとがき

猛暑が続いた夏が過ぎ、やっと秋が来ました。日本のトップも変わり、いよいよ地方創生に本腰が入ることに期待しています。

9月定例会では決算審査を行い議会からの意見も付帯意見として5つ追加し、町長に提言いたしました。また私個人も一般質問にて2期目の竹口町政がどうであったかこのタイミングで質しました。

大山町も国政も大きな節目を迎える中、大山町議会議員一同、しっかりと町民の皆様の声を聞き、町政に反映して参りたいと思います。

議員を見かけましたらどしどしとお声がけ頂けましたら嬉しく思います。
(大原)

発行責任者

議長 米本 隆記

広報常任委員会

委員長 小谷 英介

副委員長 近藤 大介

委員 吉原美智恵

委員 大森 正治

委員 大原 広巳

委員 池田 幸恵

委員 豊 哲也

委員 西本 憲人

議会だよりのご感想をお寄せください